

スズレシングルは無垢材です。

防火規制対応商品ではありませんので、外装材として使用する際の建築基準法・消防法・都市計画法等の諸条件については、事前に現場毎に建築主事にご確認ください。

## ■ 設計・仕様決定前に

### お願い

スズレシングルをご採用される場合は、プランニング・ご設計の際に外装材の美観を長期間保つため、可能な限り軒先を出していただき、極力、直射日光・雨及び雪の影響を直接受けないよう設計上のご配慮をお願いします。

- 当社カタログ・ホームページ掲載商品の定価・寸法・形状・仕様・入り数(㎡数・枚数・本数)を予告なく変更する場合があります。設計・仕様決定及びご注文の前に最新の商品情報・在庫状況をお問合せください。
- 長さ表記が複数で記載している(乱尺)商品は、長さ指定はお受けしていません。
- 木材は同じ商品、同じ梱包であっても、各板それぞれ独特の色の濃淡があり、目合い(節あり商品は節の状態等)も異なり全く同じものではありません。又、節有商品は梱包や、各板一枚によって節の大きさや数(節を含まない場合もあります)は一樣ではありません。尚、カタログの写真・提出サンプルとの色味・目合いの違いもございますが、これらは木材の特徴ですので、ご了承ください。
- お客様にとって好ましくない色味・目合い(節状態)・風合い等、又、木の特性や環境の変化によって避けられない部分(反り・曲がり・割れ・伸縮等)が含まれる場合があります。その場合は目立たない場所に配置してください。
- 木材は環境に順応する特性がありますので、寸法変化は避けたい点につき、施工時の若干のサイズのバラつきは予めご了承ください。
- ご注文数量は使用面積の約15～20%増しを目安としてください。但し、ロス率は一定ではありません。余剰材の返品はお受けしていません。
- 木材は各板一枚一枚同じものではありません。塗装後の仕上がりも商品の本来の色合い・目合いや表面仕上げにより異なります。サンプル等で試験塗装の上、事前にご確認ください。

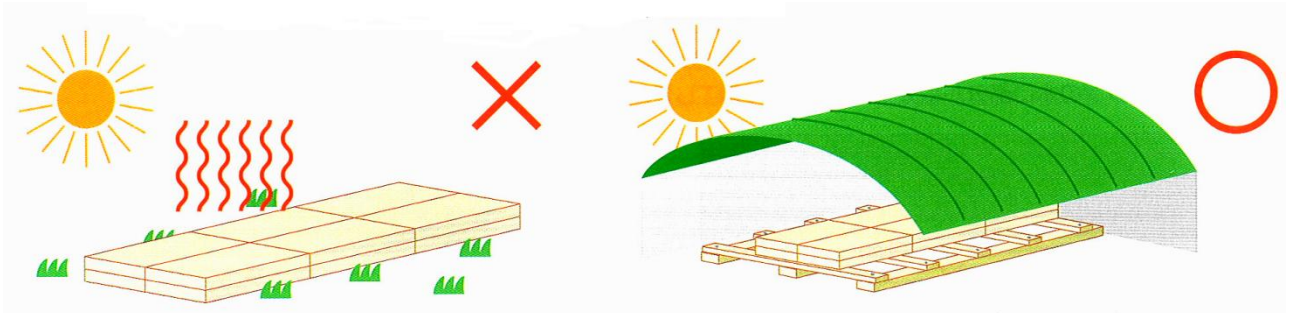
## ■ 荷扱い・搬入・保管方法

### ！ 注意

スズレシングルを取り扱う際は、「とげ」や「ささくれ」等による怪我防止、商品への汚れ防止のため必ず手袋を装着してください。

- スズレシングルは、臭いを発するもの(薬品・塗料・接着剤や塗装品の家具等)と一緒に輸送及び保管しないでください。
- 木材の性質上、施工における初期段階の伸縮を防ぐため、施工日の7日前までには商品を現場建物の中に搬入し梱包を解いて周囲の環境に順応させてください。
- 屋外(放置)及び屋内でも過度な湿気や乾燥・雨・雪・直射日光のあたる場所・土間置きは、商品の反り・曲がりやネジレ・割れ・又、伸縮による寸法ムラやカビ・日焼けの発生の原因となりますので、避けてください。

- スズレシングルは常温で湿度約50%程度の換気の良い床のある屋内に搬入し、直射日光を避け、平らな場所でパレット(台木)の上に必ず横置きし、シートで覆ってください。特に小口や木端側を下側にしての保管は商品が変形(反りや曲がり等)しやすくなりますので、避けてください。
- スズレシングルは破損し易いので、お取扱い(保管・移動・再梱包等)は慎重にお願いします。特に、木口・木端面・サネ部分・角(コーナー)部分は十分にご注意ください。
- 長期に渡り保管する場合は、特に前述の内容にはご注意ください。
- 保管環境により、木材製品はサイズ(巾・長さ)が変化することもあります。(長期保管した商品を施工する場合は、事前にサイズを確認し、サイズムラがあった場合は調整の上、施工してください。)



## ■ 湿気対策

### お願い

木材製品は施工中・施工後に過度な湿気の影響を受けると、板の幅や長さ方向に「伸び(膨らみ)」が顕著に現れ、シングル材が下地から浮き上がったり、剥がれたりすることがありますので、施工の際は特に下記の点にご注意されますようお願い致します。

- 同じ現場内で湿式工事が予定されている場合は、先に湿式工事を施工してください。その養生期間が完了し、現場内の湿度が安定してからスズレシングルを施工してください。
- 特に多湿時期(雨期等)の施工では、現場内の湿度が安定してから施工してください。
- 多湿によるシングル材の伸びを考慮し、板と板の間は必ず 6~8 mm程度の目地を確保してください。



## ！ 注意

商品を切断・切削する際は、手袋・防塵マスクを装着して作業してください。



## ■ 塗装について

- 塗料は板の呼吸を妨げない木材製品専用の浸透性保護塗料(オイルステイン)をお勧めします。
- 使用する塗料メーカーの施工要領に従い確実に行ってください。
- 屋外使用の場合、クリア塗装では紫外線による変色・劣化が早いとお勧めしておりません。
- 樹種や樹種の木目・塗布面の仕上げにより仕上がり具合が異なりますので、事前にカットサンプル等で試験塗装を行い、色や塗装状態を確認してください。
- 初回の塗装は施工前に表裏両面及び木口面全てに塗装してください。これにより板の表裏両面の含水率を均一に保ち、湿気・乾燥の影響による形状変化を軽減することができます。又、事前に塗装することで、板が収縮して目地の部分に隙間が生じた場合でも、無塗装部分の露出を防ぐことができます。
- 土台水切りに接する木口面は、特に念入りに塗装を施してください。
- スズレシングル(無塗装品)への塗装は、三井化学産資(株)の含浸型塗料「ノンロット 205N」をお勧めします。塗装方法は [www.nonrot.jp](http://www.nonrot.jp) をご参照ください。(色見本をご用意しておりますので、別途当社にご用命ください。)

## ■ 下地施工

### ステップ 1 下地の防水処理

- 間柱または、構造用合板の上に透湿性防水紙を張ります。
- 防水紙の重ね幅は100mm以上とり、継ぎ目と端部は全て防水テープで目留めしてください。
- 特に下地材と開口部材(サッシ・ドア枠)との継ぎ目部分は、全て念入りに防水テープで目留めしてください。

### ステップ 2 通気層の確保(エア胴縁=防腐処理)



- 胴縁は防腐処理し、乾燥したものをお使いください。
- 外装材裏側に通気層を確保することは壁内部の結露や腐食を防止し、ウッドシングルの耐久性を維持するためにとっても重要です。透湿性防水紙の上に防腐処理したエア胴縁で木下地を組み通気層を確保します。

## ■ 張り方 (ステンスリング釘の取扱をしております。詳細は当社までお問合せください。)

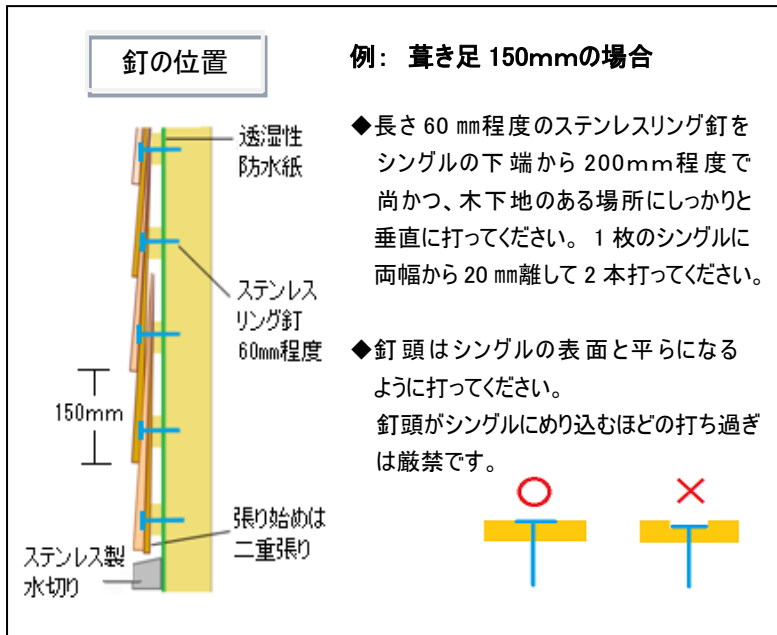
- シングルを下段より一枚ずつステンスリング釘を使用し横1列に張ります。但し最下段は2重張りにします。

### 【 葺き足寸法の 施工面積表 】

葺き足	100mm	125mm	150mm	190mm
施工面積	1.6 m <sup>2</sup>	2.0 m <sup>2</sup>	2.5 m <sup>2</sup>	3.0 m <sup>2</sup>

\* 葺き足寸法の施工面積表には2重張り分の材料ロスは含まれておりませんのでご注意ください。

- 当社カタログ・及びホームページに表記している寸法は商品加工時の平均値のため厳密な数値とは多少の誤差があります。木材の特性上、生産後、特に湿度の影響により±2mm程度、板幅・板長さも伸縮する場合がありますが、予めご了承ください。特に、シングルは板幅寸法は、80～300mmの乱幅ですので、調整しながら施工してください。
- スズレシングルは、特に下端から330mm以上の部分に節(抜節・欠節・割れ節・死節等)が若干入り、様々な目合い・色味・割れ・欠け・反り・曲り等を含む木材製品です。好まない部分は、目立たない場所に配置し、切り使いで除去してご使用ください。
- 板と板の間は必ず6～8mm程度目地をとってください。
- 葺き足寸法はお客様の判断により任意の寸法で施工可能ですが、通常は150～190mm程度が一般的です。  
(葺き足寸法を多くとるほど1束当りの施工面積が増えますが、最大葺き足寸法は215mmです。)
- 上下の列の目地は最低40mm以上間隔をあけて施工してください。



- ウェスタンレッドシーダー(米杉)は天然の灰汁(アク)が木口から流れ出ることがあります。金属やモルタルに付着したまま放置すると腐食等を生じさせる場合がありますので、下記の点にご注意ください。
- 下端の納めおよび開口部上端の納めにはステンス製の水切りをご使用ください。ただし、灰汁(アク)は付きますのでご了承ください。
- ガルバリウム鋼板は、ウェスタンレッドシーダー(米杉)と物理的に相性が悪く腐食が促進されますので、ガルバリウム鋼板の水切りは使用しないでください。
- 開口部(窓・ドア)上端の1段目は2重張りしてください。
- 張り納めは高さに合わせて板を切断して張り納めます。



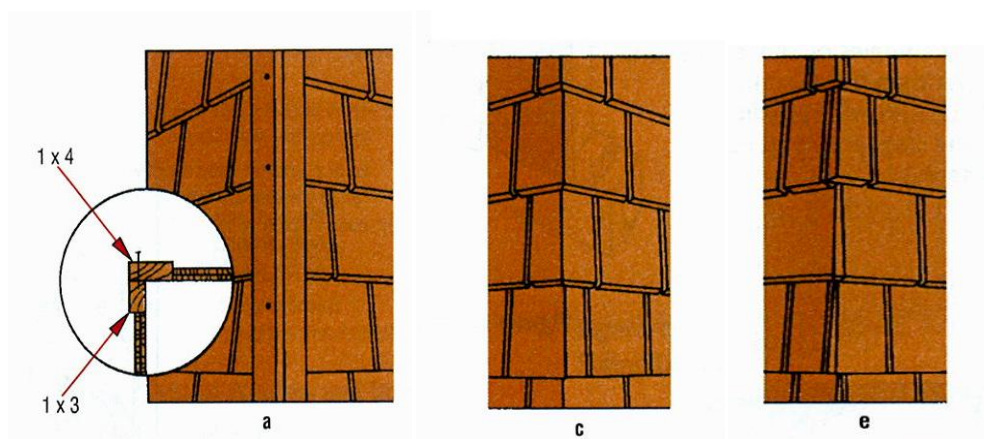
## ■ 開口部の納まり

- ダクト等の開口部はコーキング処理をし、更に廻り全体に防水テープを貼ってください。
- 開口部にかかる部分には、幅の狭いシングル材が当たらないように割付けしてください。
- 開口部の水切り上部は、水抜けのため10～15mmのクリアランス(隙間)を開けてシングルを張ってください。
- シングルと開口部との納まりは差し込み、もしくはコーキング処理してください。

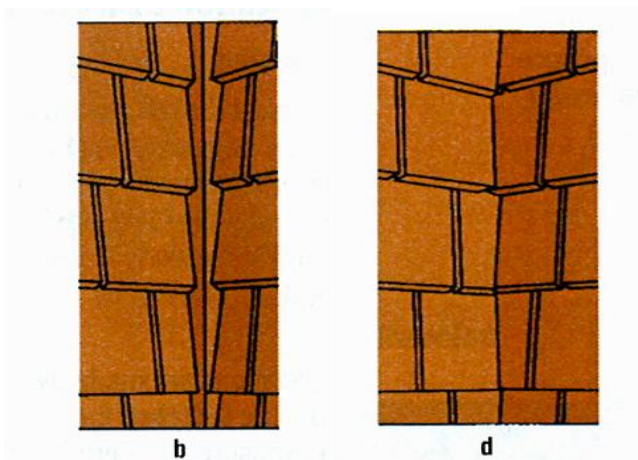


## ■ 出隅・入隅について

### ■ 出隅施工例



### ■ 入り隅施工例



- \* 当社は、当施工要領の掲載以外の工法で施工された場合には、その不備に対して如何なる責任を負うものではありません。
- \* 商品引渡し後(保管中・施工中・施工後)の商品の割れ・反り・曲がり・割れ・伸縮・カビ・ヤニ・渋・変色等、及び諸条件による経年変化は木材の特性上避けられません。これらに関する返品・交換は承っておりませんので、あらかじめご了承ください。